

【A年】

聖霊降臨後第八主日

特定十二

永遠にいます全能の神よ、あなたは常にわたしたちの祈りに先立って聞き、わたしたちが願うよりも多く与えようとしておられます。どうか豊かな恵みを注ぎ、わたしたちを赦して良心の恐れを除き、あえて願えない良いものを与えてください。み子イエス・キリストのいさおととりなしによってお願いいたします。アーメン

司祭 「聖書のみ言葉を聞きましょう」

会衆は着席する。

旧約聖書

朗読者 「旧約聖書は列王記上第三章五節から」

5 その夜、主はギブオンでソロモンの夢枕に立ち、「何事で

も願うがよい。あなたに与えよう」と言われた。6 ソロモンは答えた。「あなたの僕、わたしの父ダビデは忠実に、憐れみ深く正しい心をもつて御前を歩んだので、あなたは父に豊かな慈しみを御示しになりました。またあなたは豊かな慈しみを絶やすことなく御示しになって、今日、その王座につく子を父に与えられました。7 わが神、主よ、あなたは父ダビデに代わる王として、この僕をお立てになりました。しかし、わたしは取るに足らない若者で、どのようにふるまうべきかを知りません。8 僕はあなたのお選びになった民の中にいますが、その民は多く、数えることも調べることもできないほどです。9 どうか、あなたの民を正しく裁き、善と悪を判断することができるよう、この僕に聞き分ける心をお与えください。そうでなければ、この数多いあなたの民を裁くことが、誰にできません。」

10 主はソロモンのこの願いをお喜びになった。11 神はこう言われた。「あなたは自分のために長寿を求めず、富を求めず、また敵の命も求めることなく、訴えを正しく聞き分ける知恵を求めた。12 見よ、わたしはあなたの言葉に従って、今あなたに知恵に満ちた賢明な心を与える。あなたの先にも後にもあなたに並ぶ者はいない。」

朗読者 「旧約聖書を終わります」

詩編

腰掛けたままで、一節ずつ交互に唱えます。

第一一九編 一二二〜一二八節

121 神よ、わたしは正義と公平を守った＝ 虐げる者にわたしを渡さないでください

122 わたしの幸せを約束し＝ 高ぶる者がわたしを虐げないようにしてください

123 あなたの正しい仰せを慕い＝ わたしは救いを待ちわびる

124 わたしに慈しみを現し＝ おきてを教えてください

125 わたしはあなたの僕＝ 悟りを与え、あなたの諭しを分

126 からせてください
主よ、今こそ、力を現される時＝ 人びとはあなたの教

127 金をうとんじている
金よりも純金よりも＝ あなたの勧めをわたしは愛する

128 あなたの定めをすべて守り＝ 偽りの道をことごとく退

使徒書

朗読者 「使徒書はローマの信徒への手紙第八章二六節か

「ら」

26 同様に、“霊”も弱いわたしたちを助けてください。

わたしたちはどう祈るべきかを知りませんが、“霊”自らが、言葉に表せないうめきをもつて執り成してくださいから

です。27人の心を見抜く方は、“霊”の思いが何であるかを知つておられます。“霊”は、神の御心に従って、聖なる者

たちのために執り成してくださいからです。28神を愛する者たち、つまり、御計画に従って召された者たちには、万事が益

となるように共に働くということ、わたしたちは知っています。29神は前もって知っておられた者たちを、御子の姿

に似たものにしようとはじめ定められました。それは、御子が多く、兄弟の中で、長子となられるためです。30神は

あらかじめ定められた者たちを召し出し、召し出した者たちを義とし、義とされた者たちに栄光をお与えになったのです。

31では、これらのことについて何と言ったらいだらうか。もし神がわたしたちの味方であるならば、だれがわたしたちに敵対できますか。32わたしたちすべてのために、その御子をさへ惜しまず死に渡された方は、御子と一緒にすべてのものをわたしたちに賜らないはずがありませんか。33だれが

神に選ばれた者たちを訴えるでしょう。人を義としてくださるのは神なのです。34だれがわたしたちを罪に定めること

ができますか。死んだ方、否、むしろ、復活させられた方

であるキリスト・イエスが、神の右に座つていて、わたしたちのために執り成してくださいからです。

朗読者 「使徒書を終わります」

一同立つ。

ここで聖歌を歌う。

福音書

司祭 「主は皆さんとともに」

会衆 「また、あなたとともに」

司祭 「聖マタイによる福音書第十三章三十一節以下に記

された主イエス・キリストの福音。主に栄光」

会衆 「主に栄光がありますように」

31 イエスは、別のたとえを持ち出して、彼らに言われた。「天の国はからし種に似ている。人がこれを取って畑に蒔けば、32 どんな種よりも小さいのに、成長するほどの野菜よりも大きくなり、空の鳥が来て枝に巣を作るほどの木になる。」

33 また、別のたとえをお話しになった。「天の国はパン種に似ている。女がこれを取って三サトンの粉に混ぜると、やがて全体が膨れる。」

44 「天の国は次のようにたとえられる。畑に宝が隠されている。見つけた人は、そのまま隠しておき、喜びながら帰り、持ち物をすっかり売り払って、その畑を買う。」

45 また、天の国は次のようにたとえられる。商人が良い真珠を探している。46 高価な真珠を一つ見つけると、出かけて行って持ち物をすっかり売り払い、それを買う。

47 また、天の国は次のようにたとえられる。網が湖に投げ降ろされ、いろいろな魚を集める。48 網がいっぱいになると、人々は岸に引き上げ、座って、良いものは器に入れ、悪いものは投げ捨てる。49 世の終わりにともそうなる。

司祭 「主に感謝」

会衆 「主に感謝します」